

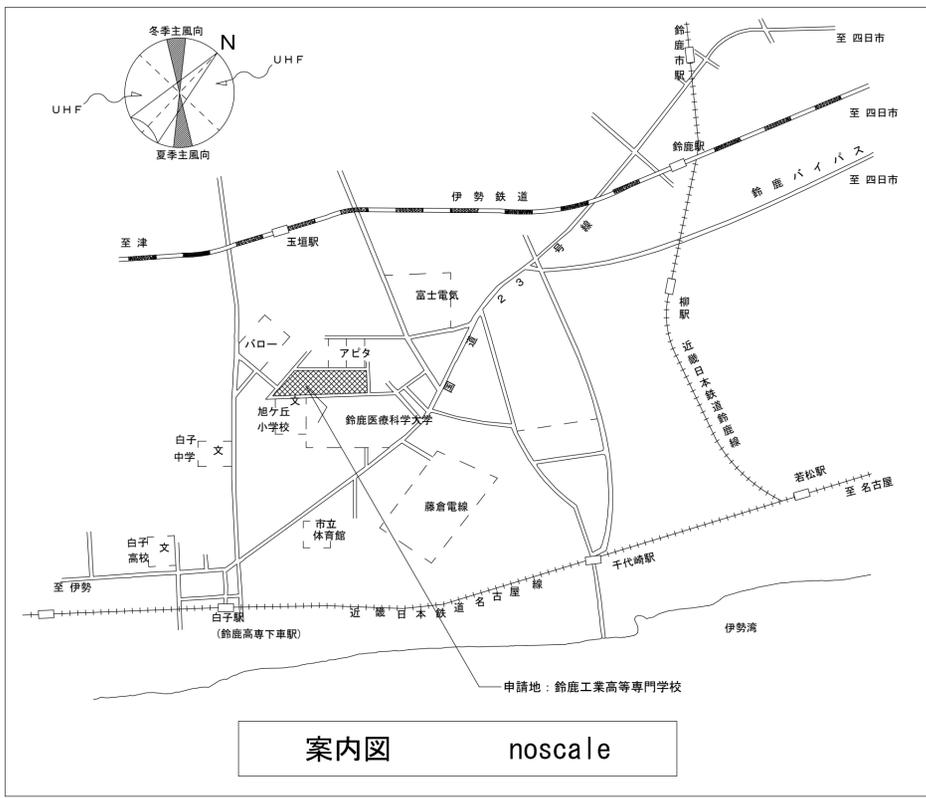
# 鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事

平成27年 6月

電気		
図面番号	図面名称	縮尺
01	共-01 表紙・図面リスト	—
02	共-02 案内図・配置図	1/1,000
03	特-01 電気設備工事 特記仕様書	—
04	E-01 第1体育館 電灯設備 1階・2階平面図（改修前）	1/100
05	E-02 第1体育館 電灯設備 1階・2階平面図（改修後）	1/100
06	E-03 第1体育館 照明器具取付図	1/10,100
07	E-04 第2体育館 電灯設備 1階・2階平面図（改修前）	1/100
08	E-05 第2体育館 電灯設備 1階・2階平面図（改修後）、断面図	1/100,200
09	E-06 柔道場 電灯設備 1階平面図（改修前、改修後）、断面図	1/50,100

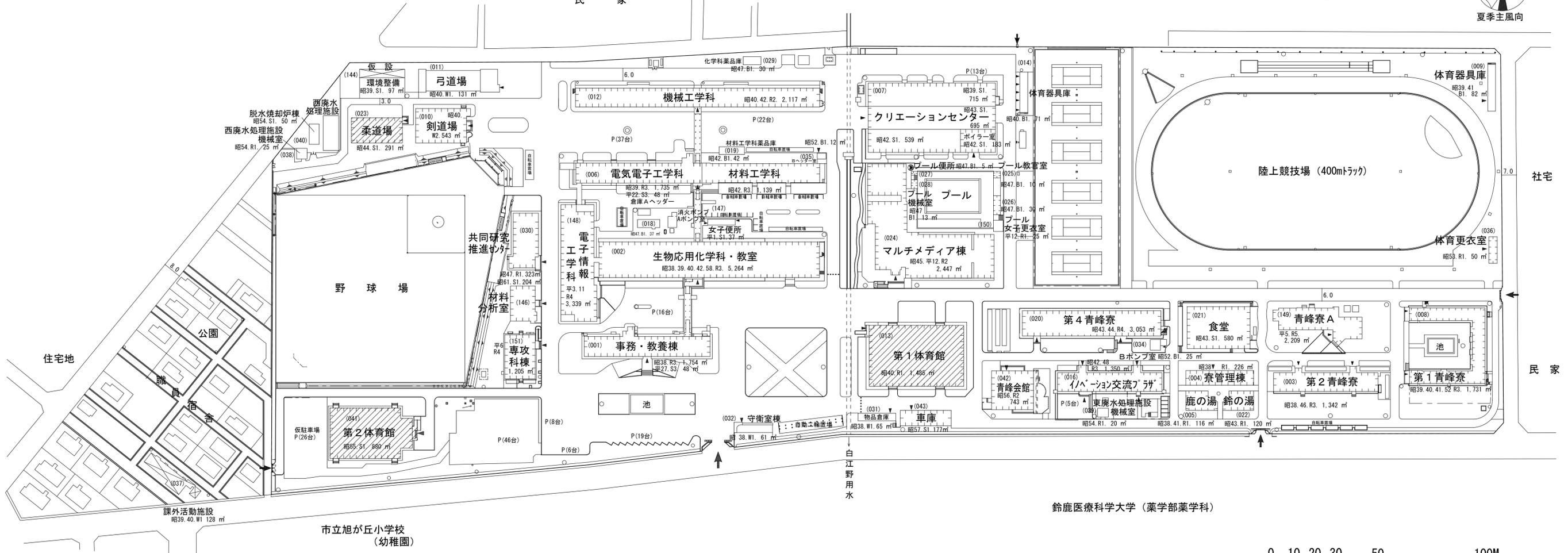
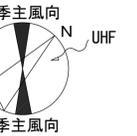
記 事	鈴鹿工業高専専門学校	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	業務名 鈴鹿工業高専第1体育館等非構造部材耐震設計業務	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	01/09
							株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	縮尺	番号
										表紙・図面リスト		共-01

※A3版の場合は50%縮尺とする



民家

アビタ



住宅

民家

鈴鹿医療科学大学 (薬学部薬学科)



S=1/1000

記事	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
						鈴鹿工業高専第1体育館等非構造部材耐震設計業務			鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	02/09
						株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	縮尺	番号
									案内図・配置図	1/1000	共-02

※A3版の場合は50%縮尺とする

電 気 設 備 工 事 (改 修) 特 記 仕 様 書		項 目	特記事項																														
I. 工 事 概 要		第1編 一般共通事項																															
1. 工事名称 2. 工事場所	鈴鹿工業高等第1体育館等照明器具改修工事 三重県鈴鹿市白子町(鈴鹿工業高等専門学校構内)																																
3. 完成期限	平成 27 年 11 月 10 日(火曜日)																																
4. 工事の種類 規模等	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">工 事 範 囲 表</th> </tr> <tr> <th>建 物 概 要</th> <th>棟 名 称</th> <th>第1体育館</th> <th>第2体育館</th> <th>柔 道 場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工 種</td> <td>模 様 替</td> <td></td> <td></td> <td>模 様 替</td> </tr> <tr> <td>構 造・階 数</td> <td>R2</td> <td>S1</td> <td></td> <td>S1</td> </tr> <tr> <td>建 築 面 積</td> <td>(1,309)㎡</td> <td>(900.83)㎡</td> <td></td> <td>(291.48)㎡</td> </tr> <tr> <td>延 べ 面 積</td> <td>(1,515)㎡</td> <td>(879.76)㎡</td> <td></td> <td>(291.48)㎡</td> </tr> </tbody> </table>			工 事 範 囲 表					建 物 概 要	棟 名 称	第1体育館	第2体育館	柔 道 場	工 種	模 様 替			模 様 替	構 造・階 数	R2	S1		S1	建 築 面 積	(1,309)㎡	(900.83)㎡		(291.48)㎡	延 べ 面 積	(1,515)㎡	(879.76)㎡		(291.48)㎡
工 事 範 囲 表																																	
建 物 概 要	棟 名 称	第1体育館	第2体育館	柔 道 場																													
工 種	模 様 替			模 様 替																													
構 造・階 数	R2	S1		S1																													
建 築 面 積	(1,309)㎡	(900.83)㎡		(291.48)㎡																													
延 べ 面 積	(1,515)㎡	(879.76)㎡		(291.48)㎡																													
屋 内 電 気 設 備	電灯幹線 電灯分岐 コンセント分岐	○	○	○																													
電 力 設 備	動力幹線 動力分岐	・	・	・																													
電 熱 設 備	電熱幹線 電熱分岐	・	・	・																													
気 体 設 備	雷保護設備 受変電設備	・	・	・																													
工 事 設 備	電力貯蔵設備 交流無停電電源	・	・	・																													
事 業 設 備	自家発電 太陽光発電	・	・	・																													
構内情報通信網設備	・	・	・	・																													
構内交換設備	・	・	・	・																													
情報表示設備	出退・情報表示設備 電気時計設備	・	・	・																													
映像・音響設備	映像設備 音響設備	・	・	・																													
拡声設備	・	・	・	・																													
誘導支援設備	イン・お設備 T/L等呼出設備	・	・	・																													
テレビ共同受信設備	・	・	・	・																													
監視カメラ設備	・	・	・	・																													
駐車場管制設備	・	・	・	・																													
防犯・入退室管理設備	防犯設備	・	・	・																													
管理設備	自動火災報知設備 自動閉鎖設備 非常警報設備 ガス漏れ火災警報設備	・	・	・																													
中央監視制御設備	・	・	・	・																													
発生材処理	○	○	○																														
屋 外 電 気 設 備	構内配電線路 構内通信線路 発生材処理	・	・	・																													
テレビ電波障害防除	・	・	・	・																													
※ ( ) 内の数値は、当該既設建物の面積とする。																																	
II. 一般特記事項		<p>(1) この工事の請負者は、独立行政法人国立高等専門学校機構発注工事請負等契約規則別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書1枚、図面8枚、公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(電気設備工事編)(平成25年版)、公共建築設備工事標準図(統一基準)(平成25年版)及び工事記録写真撮影要領に基づき工事を施工する。</p> <p>(2) 特記仕様書の適用方法</p> <p>1)・印で始まる事項及び表中の・印の事項については、○印を付した事項のみ適用する。</p> <p>2)表中の各欄に、数字、文字又は記号等を記入する事項については、記入してある事項のみ適用する。</p> <p>3)=印又は×印で抹消した事項は全て適用しない。</p> <p>4)特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱い、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>5)左欄の( )内の数値は、公共建築工事標準仕様書(統一基準)(電気設備工事編)(平成25年度版)(以下、「公共仕様書」という)、公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(電気設備工事編)(平成25年度版)(以下、「公共改修仕様書」という)文部科学省電気設備工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版)(以下、「文科仕様書」という)の該当項目番号を示す。</p>																															

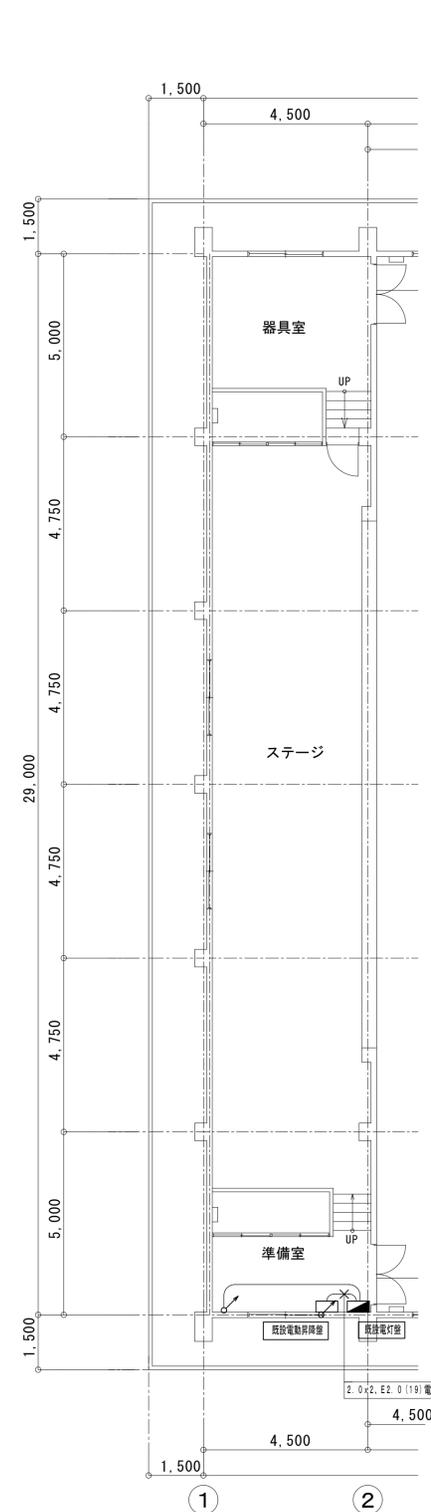
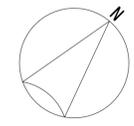
環境への配慮 (公共改修仕様書) (第1編1.4.1)																																					
2. 再使用機材 (公共改修仕様書) (第1編1.4.3)	<p>本工事は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」に基づく機材等を使用すること。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。</p> <p>・再使用する機材は絶縁抵抗測定を行うこと。</p> <p>・再使用機材の清掃において、ウェス等で落ちない汚れは中性洗剤等を使用すること。</p>																																				
3. 機材の検査等 機材の検査に伴う試験 (公共改修仕様書)	<p>監督職員が行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 材 名</th> <th>検 査</th> <th>試 験</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>照明器具</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>外観検査</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 材 名	検 査	試 験	摘 要	照明器具	○	・	外観検査		・	・			・	・			・	・																	
機 材 名	検 査	試 験	摘 要																																		
照明器具	○	・	外観検査																																		
	・	・																																			
	・	・																																			
	・	・																																			
4. 一工程の施工の事前確認、確認及び報告 (公共改修仕様書) (第1編1.6.2) (第1編1.6.3)	<p>下記の工事部分は、施工の確認及び報告を監督職員に行うものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 種 別</th> <th>確 認</th> <th>報 告 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電灯設備改修</td> <td colspan="2">既設との取り合い</td> </tr> </tbody> </table>	工 事 種 別	確 認	報 告 事 項	電灯設備改修	既設との取り合い																															
工 事 種 別	確 認	報 告 事 項																																			
電灯設備改修	既設との取り合い																																				
5. 施工の検査等・施工の検査に伴う試験・施工の立会等・施行の立会等 (公共改修仕様書) (第1編1.6.4)~(1.6.6.8)	<p>下記の工事部分は監督職員の施工の検査、施工の立会及び施工検査に伴う試験を受けるものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 種 別</th> <th>検 査</th> <th>立 会</th> <th>試 験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電灯設備改修</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	工 事 種 別	検 査	立 会	試 験	電灯設備改修	○	○	○		・	・	・		・	・	・		・	・	・																
工 事 種 別	検 査	立 会	試 験																																		
電灯設備改修	○	○	○																																		
	・	・	・																																		
	・	・	・																																		
	・	・	・																																		
6. 発生材の処理等 (公共改修仕様書) (第1編1.9.1)	<p>発生材の処理は、下記による。</p> <p>(1)引渡しを要するもの</p> <p>1)品 名 既設照明器具 3)集積場所</p> <p>2)引渡し先</p> <p><del>(2)特別管理産業廃棄物</del></p> <p>1)品 名 3)集積場所</p> <p>2)引渡し先 4)集積方法</p> <p>(3)現場において再利用するもの</p> <p>1-1)品 名 図示による。 1-2)使用箇所 図示による。</p> <p>1-1)品 名 図示による。 1-2)使用箇所 図示による。</p> <p><del>(4)再資源化するもの</del></p> <p>1)品 名</p> <p>2)品 名</p> <p>(5)関係法令にしたがい適切に処理するもの</p> <p>1)品 名 上記以外の発生材。</p> <p>2)品 名</p> <p>本工事中間に、中間技術検査を建築士上工事着手前に1回行う、ただし工事内容により、これによりがたい場合は監督職員と協議するものとする。</p>																																				
7. 技術検査 (公共改修仕様書) (第1編1.10.2)	<p>完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>体 裁 等</th> <th>部 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 完成図</td> <td>原 図 (A1版)</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>○ 完成図</td> <td>仮 製 本 (A1版)</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>○ 完成図</td> <td>CADデータ</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>○ 完成図</td> <td>P D F データ</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>○ 施工図</td> <td>原 図 (A1版)</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>○ 施工図</td> <td>仮 製 本 (A3版)</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>○ 施工図</td> <td>P D F データ</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>○ 工事写真帳</td> <td>○電子媒体 ・紙媒体 (7/116綴じ)</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>○ 機器完成図及び説明書</td> <td></td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>○ 各種試験成績書</td> <td></td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>○ 完成時提出書類一式</td> <td>P D F データ</td> <td>2部</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	体 裁 等	部 数	○ 完成図	原 図 (A1版)	1部	○ 完成図	仮 製 本 (A1版)	1部	○ 完成図	CADデータ	1部	○ 完成図	P D F データ	1部	○ 施工図	原 図 (A1版)	1部	○ 施工図	仮 製 本 (A3版)	1部	○ 施工図	P D F データ	1部	○ 工事写真帳	○電子媒体 ・紙媒体 (7/116綴じ)	2部	○ 機器完成図及び説明書		2部	○ 各種試験成績書		2部	○ 完成時提出書類一式	P D F データ	2部
名 称	体 裁 等	部 数																																			
○ 完成図	原 図 (A1版)	1部																																			
○ 完成図	仮 製 本 (A1版)	1部																																			
○ 完成図	CADデータ	1部																																			
○ 完成図	P D F データ	1部																																			
○ 施工図	原 図 (A1版)	1部																																			
○ 施工図	仮 製 本 (A3版)	1部																																			
○ 施工図	P D F データ	1部																																			
○ 工事写真帳	○電子媒体 ・紙媒体 (7/116綴じ)	2部																																			
○ 機器完成図及び説明書		2部																																			
○ 各種試験成績書		2部																																			
○ 完成時提出書類一式	P D F データ	2部																																			
8. 完成時の提出書類 (公共改修仕様書) (第1編1.11.1~2)	<p>CADデータ (・○ 不要)</p> <p>本工事は、次の書類については、電子納品の対象とする。</p> <p>○工事写真 ○完成図 (P D F 及びD X F 又はJ W W)</p> <p>貸与する設計図のCADデータの著作権者名 : ファイル形式 :</p> <p>貸与条件: 貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。</p> <p>提出方法:</p> <p>1)完成図はA1判とし、製本はA4判黒表紙で工事名称は金文字とする。</p> <p>2)表中の※印は1冊にまとめてよい。</p> <p>3)完成図書はファイル綴じし、表記は監督職員の指示による。</p>																																				

9. 保全に関する資料 (公共改修仕様書) (第1編1.11.3)	<p>保全に関する資料は公共仕様書によるほか、下記に示す機器及びシステムを運用する職員に対しその機能・操作の説明、保守点検の要領、障害時の対策及び災害(停電、自然災害)時の対応等を資料を作成し説明すること。</p> <p>停電に伴う仮設電源については、監督職員と協議を行うこと。また、停電作業の10日前までに、停電作業計画書を提出し、構内の電気主任技術者及び監督職員の承諾を得ること。</p>																																																																																																																																											
10. 停電作業及び仮設備工事 (公共改修仕様書) (第1編2.1.1) (第1編2.13.1~3)																																																																																																																																												
III. 共通事項	<p>電線・ケーブル等の規格、記号で公共仕様書に定める以外のものは下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼称</th> <th>規格</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カテゴリ6対応 UTPケーブル</td> <td>JIS 5503に準拠し、JIS X 5150のクラスE (カテゴリ6)規格に適合したもの</td> <td>EM-UTP</td> </tr> </tbody> </table> <p>電線保護物の規格で公共仕様書に定める以外のものは下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼称</th> <th>規格</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>難燃性波打硬質合成樹脂管</td> <td>JIS C 3653及び同付属書1による自己消火性がある</td> <td>F・FEP</td> </tr> </tbody> </table> <p>ケーブルラックの表面処理は下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th colspan="3">表 面 処 理 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置場所</td> <td>合成樹脂焼付塗装</td> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共同溝内</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>床下ビット</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>天井内</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>E P S</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>電気・機械室内</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>配線及び主回路の導体の色別は、次による。</p> <p>・標準仕様書による。</p> <p>○ 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電気方式</th> <th>第1相</th> <th>第2相</th> <th>第3相</th> <th>中性相</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧</td> <td>三相3線式</td> <td colspan="3">主回路導体は、その端部又は一部に当該地区の電力会社の相色別による色別を施すものとする。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">低 圧</td> <td>三相3線式</td> <td>赤</td> <td>接地側白</td> <td>黒</td> </tr> <tr> <td>三相4線式</td> <td>赤</td> <td>青</td> <td>黒</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td>単相2線式</td> <td>赤(青)</td> <td>接地側白</td> <td colspan="2" rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>単相3線式</td> <td>赤</td> <td>青</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td>直流2線式</td> <td>青</td> <td>白</td> <td colspan="2">/</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">配 線</td> <td>(1)分岐回路の色別</td> <td colspan="3">分岐前の色別による。</td> </tr> <tr> <td>(2)発電回路の第2相</td> <td colspan="3">接地側の電線の色は、黄色とする。(無停電回路含む。)</td> </tr> <tr> <td>(3)切替回路2次側</td> <td colspan="3">規定しない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">分電盤類</td> <td>(4)漏電流遮断器の接地</td> <td colspan="3">専用接地極とした時の接地線は、一般接地線と色別を区別し、黄色とする。</td> </tr> <tr> <td>共通事項</td> <td colspan="3">配線(1)~(4)による。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">[備考]</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(a)配電盤類については、次による。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(1)左右、遠近の別は各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(2)三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(3)三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(b)屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(c)接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。</td> </tr> </tbody> </table>	呼称	規格	記号	カテゴリ6対応 UTPケーブル	JIS 5503に準拠し、JIS X 5150のクラスE (カテゴリ6)規格に適合したもの	EM-UTP	呼称	規格	記号	難燃性波打硬質合成樹脂管	JIS C 3653及び同付属書1による自己消火性がある	F・FEP	種 別	表 面 処 理 等			設置場所	合成樹脂焼付塗装	溶融亜鉛めっき		共同溝内	・	・	・	床下ビット	・	・	・	天井内	・	・	・	E P S	・	・	・	電気・機械室内	・	・	・		・	・	・		・	・	・	電気方式	第1相	第2相	第3相	中性相	高圧	三相3線式	主回路導体は、その端部又は一部に当該地区の電力会社の相色別による色別を施すものとする。			低 圧	三相3線式	赤	接地側白	黒	三相4線式	赤	青	黒	白	単相2線式	赤(青)	接地側白	/		単相3線式	赤	青	白	直流2線式	青	白	/		配 線	(1)分岐回路の色別	分岐前の色別による。			(2)発電回路の第2相	接地側の電線の色は、黄色とする。(無停電回路含む。)			(3)切替回路2次側	規定しない。			分電盤類	(4)漏電流遮断器の接地	専用接地極とした時の接地線は、一般接地線と色別を区別し、黄色とする。			共通事項	配線(1)~(4)による。			[備考]					(a)配電盤類については、次による。					(1)左右、遠近の別は各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。					(2)三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。					(3)三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。					(b)屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。					(c)接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。				
呼称	規格	記号																																																																																																																																										
カテゴリ6対応 UTPケーブル	JIS 5503に準拠し、JIS X 5150のクラスE (カテゴリ6)規格に適合したもの	EM-UTP																																																																																																																																										
呼称	規格	記号																																																																																																																																										
難燃性波打硬質合成樹脂管	JIS C 3653及び同付属書1による自己消火性がある	F・FEP																																																																																																																																										
種 別	表 面 処 理 等																																																																																																																																											
設置場所	合成樹脂焼付塗装	溶融亜鉛めっき																																																																																																																																										
共同溝内	・	・	・																																																																																																																																									
床下ビット	・	・	・																																																																																																																																									
天井内	・	・	・																																																																																																																																									
E P S	・	・	・																																																																																																																																									
電気・機械室内	・	・	・																																																																																																																																									
	・	・	・																																																																																																																																									
	・	・	・																																																																																																																																									
電気方式	第1相	第2相	第3相	中性相																																																																																																																																								
高圧	三相3線式	主回路導体は、その端部又は一部に当該地区の電力会社の相色別による色別を施すものとする。																																																																																																																																										
低 圧	三相3線式	赤	接地側白	黒																																																																																																																																								
	三相4線式	赤	青	黒	白																																																																																																																																							
	単相2線式	赤(青)	接地側白	/																																																																																																																																								
	単相3線式	赤	青			白																																																																																																																																						
直流2線式	青	白	/																																																																																																																																									
配 線	(1)分岐回路の色別	分岐前の色別による。																																																																																																																																										
	(2)発電回路の第2相	接地側の電線の色は、黄色とする。(無停電回路含む。)																																																																																																																																										
	(3)切替回路2次側	規定しない。																																																																																																																																										
分電盤類	(4)漏電流遮断器の接地	専用接地極とした時の接地線は、一般接地線と色別を区別し、黄色とする。																																																																																																																																										
	共通事項	配線(1)~(4)による。																																																																																																																																										
[備考]																																																																																																																																												
(a)配電盤類については、次による。																																																																																																																																												
(1)左右、遠近の別は各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。																																																																																																																																												
(2)三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。																																																																																																																																												
(3)三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。																																																																																																																																												
(b)屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。																																																																																																																																												
(c)接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。																																																																																																																																												

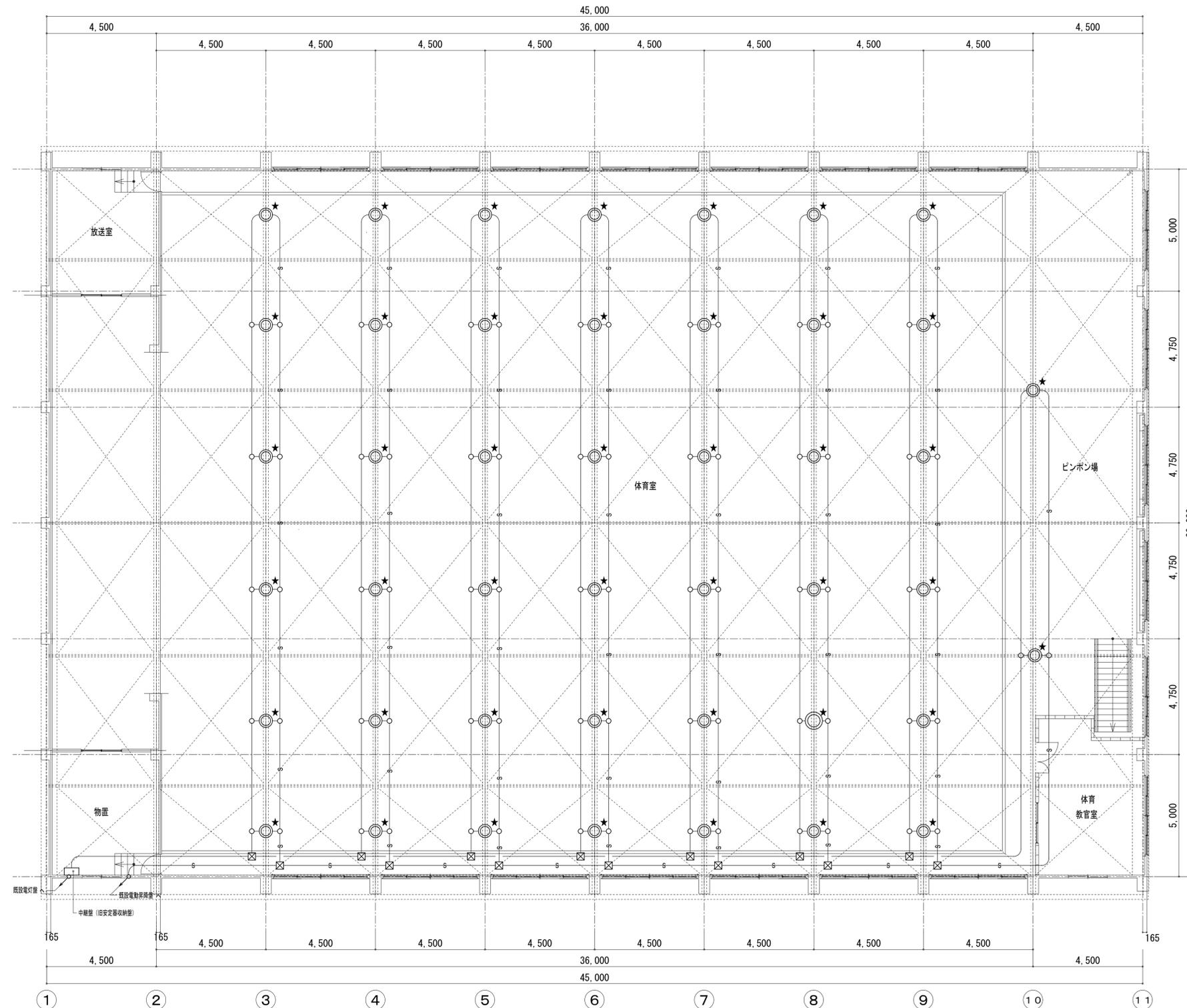
5. 耐震施工 (公共改修仕様書) (第2編2.1.14) (第6編2.1.12)	<p>100kgを超える機器の据付、固定及び支持については、日本建築センター刊「建築設備耐震設計・施工指針」により施工するものとし、設置場所に応じた設計用水平震度は、下表による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設 置 場 所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <td>重要機器</td> <td>一般機器</td> <td>重要機器</td> <td>一般機器</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>・2.0 (2.0)</td> <td>○1.5 (2.0)</td> <td>・1.5 (2.0)</td> <td>・1.0 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td>・1.5 (1.5)</td> <td>○1.0 (1.5)</td> <td>・1.0 (1.5)</td> <td>・0.6 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>地 下 及 び 1 階</td> <td>・1.0 (1.0)</td> <td>○0.6 (1.0)</td> <td>・0.6 (1.0)</td> <td>・0.4 (0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ( )内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。</p> <p>・公共仕様書第2編2.1.13 表2.1.2「横引き配管等の耐震支持」及び公共改修仕様書第2編2.1.14 表2.1.3「横引き配管等の耐震支持」における耐震安全性の分類は上記と同じとする。</p> <p>・建物への配管の引込部の耐震処置及び建物のエキスパンションジョイント部の配線は、標準図の措置を施す。</p> <p>接地極等は、下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>接 地 極 (1箇所当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A・D種共用</td> <td>・く体接地方式</td> </tr> <tr> <td>・銅板 900mm×900mm×1.5mm 1枚</td> </tr> <tr> <td>・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A種</td> <td>・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚</td> </tr> <tr> <td>・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B種</td> <td>・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚</td> </tr> <tr> <td>・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C種</td> <td>・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚</td> </tr> <tr> <td>・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D種 (ELB用含む)</td> <td>・銅板 mm×mm×mm 枚</td> </tr> <tr> <td>・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">避雷設備用</td> <td>・銅板 mm×mm×mm 枚</td> </tr> <tr> <td>・接地棒 14φ×1.500mm 連結 箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実 験 用</td> <td>・銅板 mm×mm×mm 枚</td> </tr> <tr> <td>・接地棒 14φ×1.500mm 連結 箇所</td> </tr> <tr> <td>接地極抵抗測定用</td> <td>・接地棒 14φ×1,000mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">接地棒の14φ×1,500mmのものは、銅覆鋼棒製とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">接地棒の14φ×1,000mmのものは、銅覆鋼棒製とする。</td> </tr> <tr> <td>6. 接地極等 6-1) 接地極の種類</td> <td> <p>接地極の表示は、9-1)の箇所分配置し、下記による接地極埋設標を接地する。</p> <p>・黄銅板製</p> <p>・ステンレス製</p> </td> </tr> <tr> <td>6-2)接地位置等の表示 (公共改修仕様書) (第2編2.15.14)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VI. 屋 内 電 気 工 事 第 編 電力設備工事</td> <td> <p>1. 照明器具</p> <p>蛍光灯の光源色は、図面に特記がない限り下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">照明器具の種類</th> <th colspan="2">L E D</th> <th colspan="2">H F 形</th> </tr> <tr> <th>直管形 ・一体型</th> <th>ダウン ライト形</th> <th>FHF16 FHF32 FHF86</th> <th>FHP32 FHP45 FHT32 FHT42</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">光源色</td> <td>・昼白色</td> <td>○昼白色</td> <td>・3波長域発光形 昼白色</td> <td>・3波長域発光形 昼白色</td> </tr> <tr> <td>・電球色</td> <td>・電球色</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>照度測定を公共仕様書第2編第2章2.18.2「施工の試験」表2.18.3より次のとおり行う。</p> <p>一般照明 : 1部屋当たり 2ヶ所以上又は 6㎡当たり 1ヶ所</p> <p>非常用の照明装置: 1部屋当たり ヶ所以上又は ㎡当たり ヶ所</p> <p>屋外灯 灯具仕様: ポール仕様: 材質: ・SS400 ・STK400 ・SM490 ・SMA490 ・SGP 塗装色指定: ・有 ・無 ・角ポール ・丸ポール ・埋設式 (・T3.5 ・T4 ・T4.5 ・T5) ・ベースプレート式 (・TB3.5 ・TB4 ・TB4.5 ・TB5) 配線用遮断器: ・有 (・漏電遮断器 ・タイマー付 ・防水ボックス内に収納) ・無</p> <p>接地極: ・有 (埋設標省略しない) ・無 (接地端子盤より配線)</p> <p>耐風速: m/s</p> <p>基礎サイズ: 捨てコンクリートの厚さ: mm以上、砂利及び砂地業の厚さ mm以上</p> </td> </tr> </tbody> </table>	設 置 場 所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	・2.0 (2.0)	○1.5 (2.0)	・1.5 (2.0)	・1.0 (1.5)	中 間 階	・1.5 (1.5)	○1.0 (1.5)	・1.0 (1.5)	・0.6 (1.0)	地 下 及 び 1 階	・1.0 (1.0)	○0.6 (1.0)	・0.6 (1.0)	・0.4 (0.6)	種 別	接 地 極 (1箇所当り)	A・D種共用	・く体接地方式	・銅板 900mm×900mm×1.5mm 1枚	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所	A種	・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所	B種	・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所	C種	・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所	D種 (ELB用含む)	・銅板 mm×mm×mm 枚	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所	避雷設備用	・銅板 mm×mm×mm 枚	・接地棒 14φ×1.500mm 連結 箇所	実 験 用	・銅板 mm×mm×mm 枚	・接地棒 14φ×1.500mm 連結 箇所	接地極抵抗測定用	・接地棒 14φ×1,000mm	接地棒の14φ×1,500mmのものは、銅覆鋼棒製とする。		接地棒の14φ×1,000mmのものは、銅覆鋼棒製とする。		6. 接地極等 6-1) 接地極の種類	<p>接地極の表示は、9-1)の箇所分配置し、下記による接地極埋設標を接地する。</p> <p>・黄銅板製</p> <p>・ステンレス製</p>	6-2)接地位置等の表示 (公共改修仕様書) (第2編2.15.14)		VI. 屋 内 電 気 工 事 第 編 電力設備工事	<p>1. 照明器具</p> <p>蛍光灯の光源色は、図面に特記がない限り下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">照明器具の種類</th> <th colspan="2">L E D</th> <th colspan="2">H F 形</th> </tr> <tr> <th>直管形 ・一体型</th> <th>ダウン ライト形</th> <th>FHF16 FHF32 FHF86</th> <th>FHP32 FHP45 FHT32 FHT42</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">光源色</td> <td>・昼白色</td> <td>○昼白色</td> <td>・3波長域発光形 昼白色</td> <td>・3波長域発光形 昼白色</td> </tr> <tr> <td>・電球色</td> <td>・電球色</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>照度測定を公共仕様書第2編第2章2.18.2「施工の試験」表2.18.3より次のとおり行う。</p> <p>一般照明 : 1部屋当たり 2ヶ所以上又は 6㎡当たり 1ヶ所</p> <p>非常用の照明装置: 1部屋当たり ヶ所以上又は ㎡当たり ヶ所</p> <p>屋外灯 灯具仕様: ポール仕様: 材質: ・SS400 ・STK400 ・SM490 ・SMA490 ・SGP 塗装色指定: ・有 ・無 ・角ポール ・丸ポール ・埋設式 (・T3.5 ・T4 ・T4.5 ・T5) ・ベースプレート式 (・TB3.5 ・TB4 ・TB4.5 ・TB5) 配線用遮断器: ・有 (・漏電遮断器 ・タイマー付 ・防水ボックス内に収納) ・無</p> <p>接地極: ・有 (埋設標省略しない) ・無 (接地端子盤より配線)</p> <p>耐風速: m/s</p> <p>基礎サイズ: 捨てコンクリートの厚さ: mm以上、砂利及び砂地業の厚さ mm以上</p>	照明器具の種類	L E D		H F 形		直管形 ・一体型	ダウン ライト形	FHF16 FHF32 FHF86	FHP32 FHP45 FHT32 FHT42	光源色	・昼白色	○昼白色	・3波長域発光形 昼白色	・3波長域発光形 昼白色	・電球色	・電球色	・( )	・( )		・( )	・( )	・( )	・( )
設 置 場 所	耐震安全性の分類																																																																																								
	特定の施設		一般の施設																																																																																						
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																					
上層階、屋上及び塔屋	・2.0 (2.0)	○1.5 (2.0)	・1.5 (2.0)	・1.0 (1.5)																																																																																					
中 間 階	・1.5 (1.5)	○1.0 (1.5)	・1.0 (1.5)	・0.6 (1.0)																																																																																					
地 下 及 び 1 階	・1.0 (1.0)	○0.6 (1.0)	・0.6 (1.0)	・0.4 (0.6)																																																																																					
種 別	接 地 極 (1箇所当り)																																																																																								
A・D種共用	・く体接地方式																																																																																								
	・銅板 900mm×900mm×1.5mm 1枚																																																																																								
	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所																																																																																								
A種	・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚																																																																																								
	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所																																																																																								
B種	・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚																																																																																								
	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所																																																																																								
C種	・銅板 900mm×900mm×1.5mm 枚																																																																																								
	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所																																																																																								
D種 (ELB用含む)	・銅板 mm×mm×mm 枚																																																																																								
	・接地棒 14φ×1.500mm 2連結 1箇所																																																																																								
避雷設備用	・銅板 mm×mm×mm 枚																																																																																								
	・接地棒 14φ×1.500mm 連結 箇所																																																																																								
実 験 用	・銅板 mm×mm×mm 枚																																																																																								
	・接地棒 14φ×1.500mm 連結 箇所																																																																																								
接地極抵抗測定用	・接地棒 14φ×1,000mm																																																																																								
接地棒の14φ×1,500mmのものは、銅覆鋼棒製とする。																																																																																									
接地棒の14φ×1,000mmのものは、銅覆鋼棒製とする。																																																																																									
6. 接地極等 6-1) 接地極の種類	<p>接地極の表示は、9-1)の箇所分配置し、下記による接地極埋設標を接地する。</p> <p>・黄銅板製</p> <p>・ステンレス製</p>																																																																																								
6-2)接地位置等の表示 (公共改修仕様書) (第2編2.15.14)																																																																																									
VI. 屋 内 電 気 工 事 第 編 電力設備工事	<p>1. 照明器具</p> <p>蛍光灯の光源色は、図面に特記がない限り下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">照明器具の種類</th> <th colspan="2">L E D</th> <th colspan="2">H F 形</th> </tr> <tr> <th>直管形 ・一体型</th> <th>ダウン ライト形</th> <th>FHF16 FHF32 FHF86</th> <th>FHP32 FHP45 FHT32 FHT42</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">光源色</td> <td>・昼白色</td> <td>○昼白色</td> <td>・3波長域発光形 昼白色</td> <td>・3波長域発光形 昼白色</td> </tr> <tr> <td>・電球色</td> <td>・電球色</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> <td>・( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>照度測定を公共仕様書第2編第2章2.18.2「施工の試験」表2.18.3より次のとおり行う。</p> <p>一般照明 : 1部屋当たり 2ヶ所以上又は 6㎡当たり 1ヶ所</p> <p>非常用の照明装置: 1部屋当たり ヶ所以上又は ㎡当たり ヶ所</p> <p>屋外灯 灯具仕様: ポール仕様: 材質: ・SS400 ・STK400 ・SM490 ・SMA490 ・SGP 塗装色指定: ・有 ・無 ・角ポール ・丸ポール ・埋設式 (・T3.5 ・T4 ・T4.5 ・T5) ・ベースプレート式 (・TB3.5 ・TB4 ・TB4.5 ・TB5) 配線用遮断器: ・有 (・漏電遮断器 ・タイマー付 ・防水ボックス内に収納) ・無</p> <p>接地極: ・有 (埋設標省略しない) ・無 (接地端子盤より配線)</p> <p>耐風速: m/s</p> <p>基礎サイズ: 捨てコンクリートの厚さ: mm以上、砂利及び砂地業の厚さ mm以上</p>	照明器具の種類	L E D		H F 形		直管形 ・一体型	ダウン ライト形	FHF16 FHF32 FHF86	FHP32 FHP45 FHT32 FHT42	光源色	・昼白色	○昼白色	・3波長域発光形 昼白色	・3波長域発光形 昼白色	・電球色	・電球色	・( )	・( )		・( )	・( )	・( )	・( )																																																																	
照明器具の種類	L E D		H F 形																																																																																						
	直管形 ・一体型	ダウン ライト形	FHF16 FHF32 FHF86	FHP32 FHP45 FHT32 FHT42																																																																																					
光源色	・昼白色	○昼白色	・3波長域発光形 昼白色	・3波長域発光形 昼白色																																																																																					
	・電球色	・電球色	・( )	・( )																																																																																					
	・( )	・( )	・( )	・( )																																																																																					

記 事	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
						鈴鹿工業高等第1体育館等非構造部材耐震設計業務			鈴鹿工業高等第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	03/09
						株式会社 線企画設計 管理建築士 一級建築士(大匠) 第270315号 大綱 和行			図面名称	縮尺	番号
									電気設備工事 特記仕様書	NON	特-01

※A3版の場合は50%縮尺とする



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

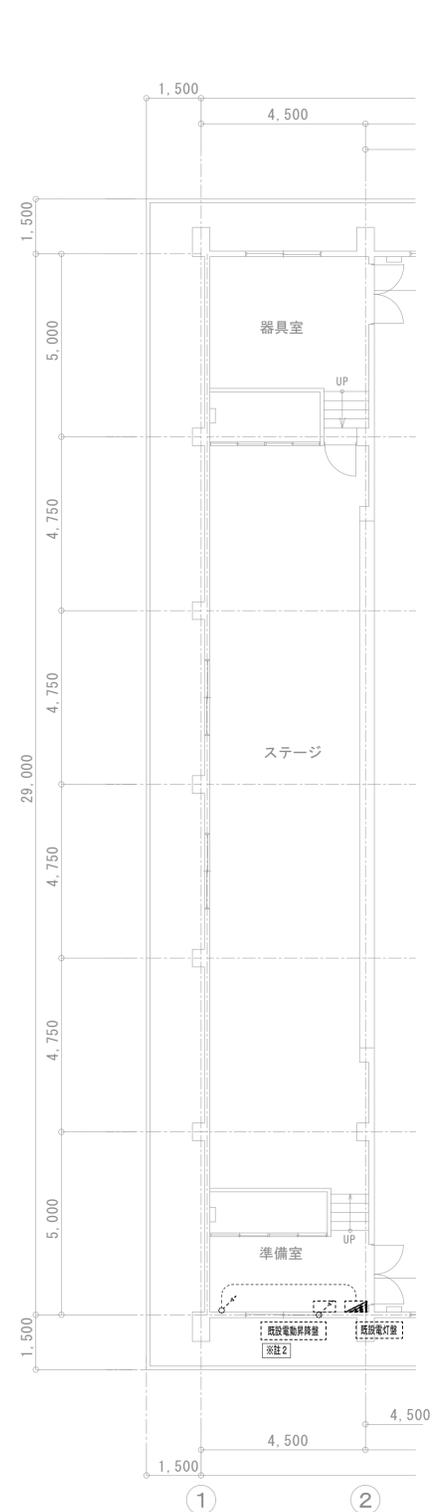
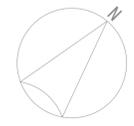
既設照明器具変更

◎ A200 セラメタランプ200Wタイプ 安定器・電動昇降装置内蔵型  
1φ200V電源 ガード共

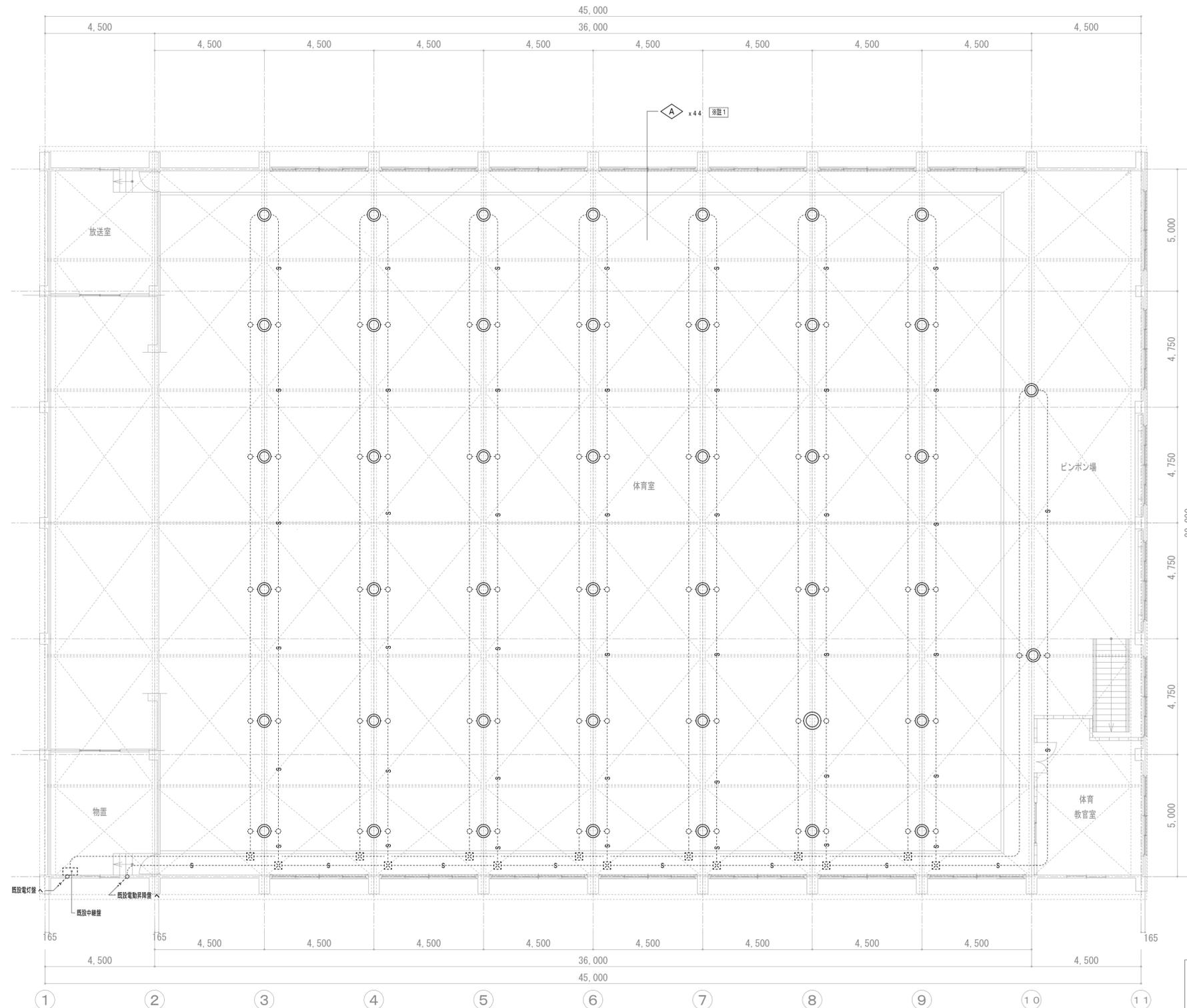
- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。  
 ○ 既設 電源用配管配線  
 ○ 既設 電動昇降操作用配管配線
  - 凡例  
 ★ 既設照明器具A200の撤去をします。 44灯  
 × 既設配管配線の撤去をします。

記 事	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
						鈴鹿工業高専第1体育館等非構造部材耐震設計業務			鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	04/09
						株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 大綱 和行			図面名称	縮尺	番号
									第1体育館 電灯設備 1階・2階平面図(改修前)	1/100	E-01

※A3版の場合は50%縮尺とする



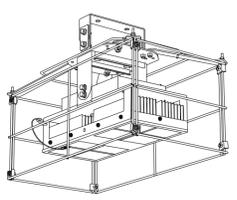
1 階 平面図 1/100



2 階 平面図 1/100

新設照明器具姿図

- LED高天井器具 広角タイプ 消費電力170W(200V時)
- メタルハイドランプ400W高天井器具相当
- 落下防止ワイヤー、拡散カバー付き下面ガード・体育館用ガード付

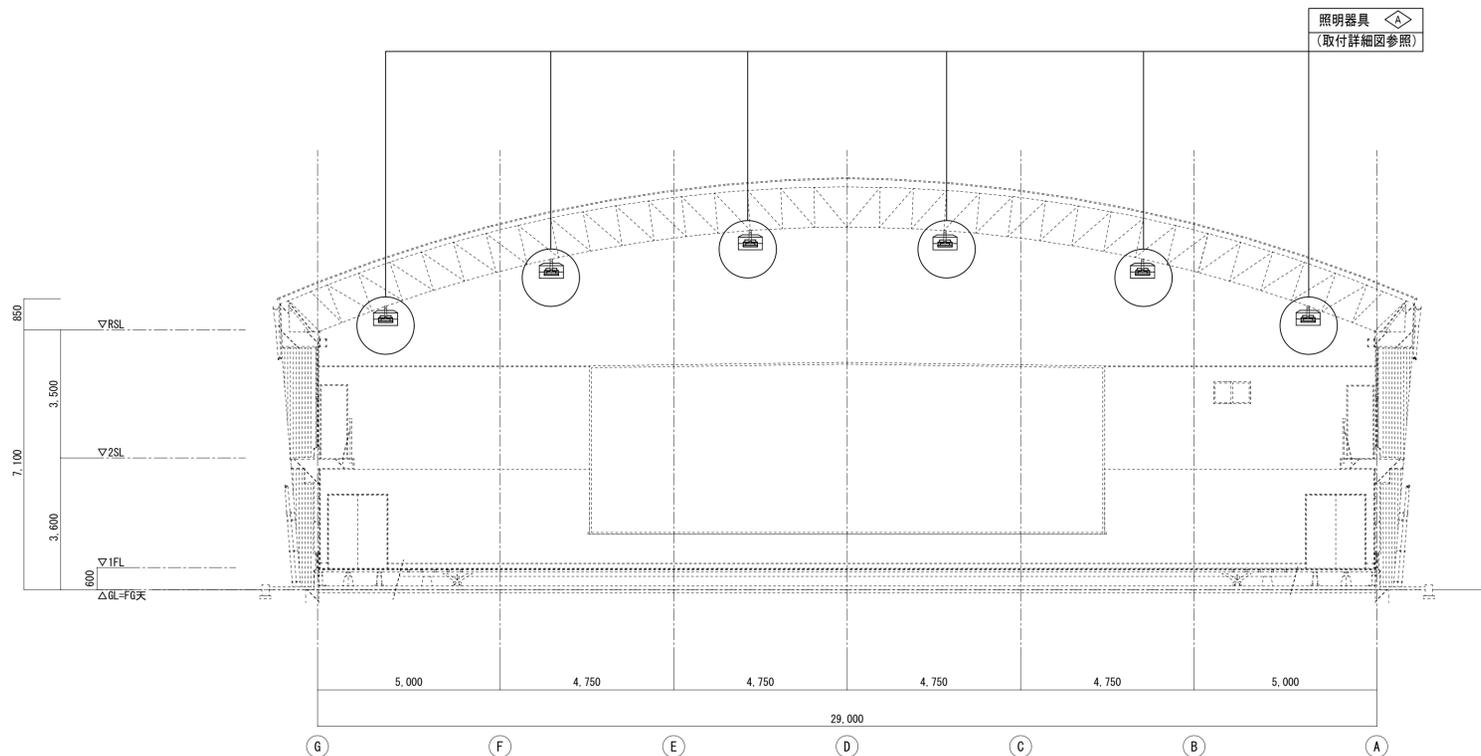


LSR2W-20000LM  
(東芝 LEDJ-20026N-DJ2 相当品)

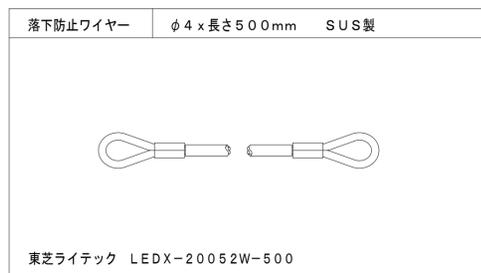
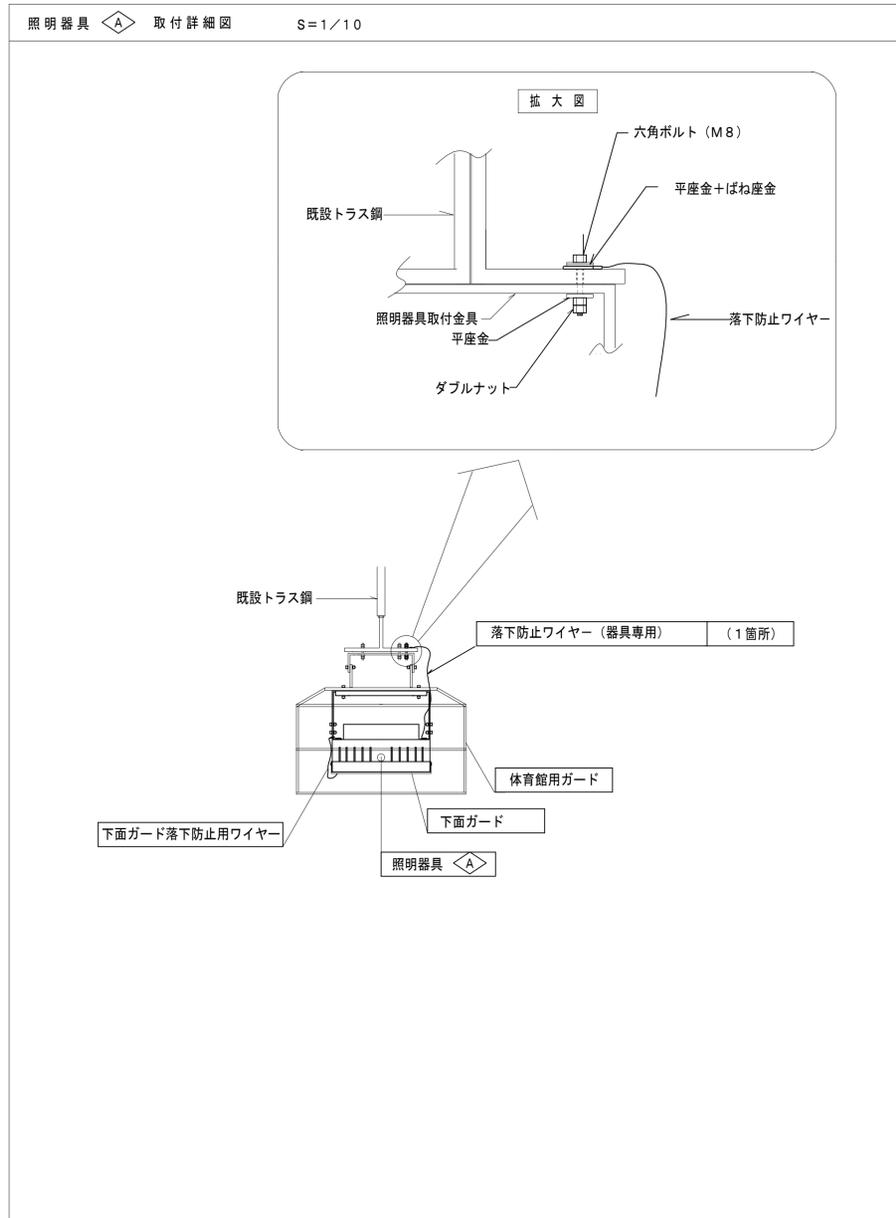
- 特記事項 ——
- 1、記入なき配管配線は下記とする。  
 ..... 既設 電源用配管配線 (既存のまま)  
 ..... 6 ..... 既設 電動昇降機用配管配線 (既存のまま)
  - 2、註記は下記とする。  
 ※註1 今回、電動昇降機を使用しないので、器具と接続しない。不要線の表示を施す。  
 ※註2 今回、電動昇降機を使用しないので、銘板と内機を撤去する。  
 2次側配線は不要線の表示を施す。

記 事	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
						鈴鹿工業高専第1体育館等非構造部材耐震設計業務			鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	05/09
						株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 大綱 和行			図面名称	縮尺	番号
									第1体育館 電灯設備 1階・2階平面図(改修後)	1/100	E-02

※A3版の場合は50%縮尺とする

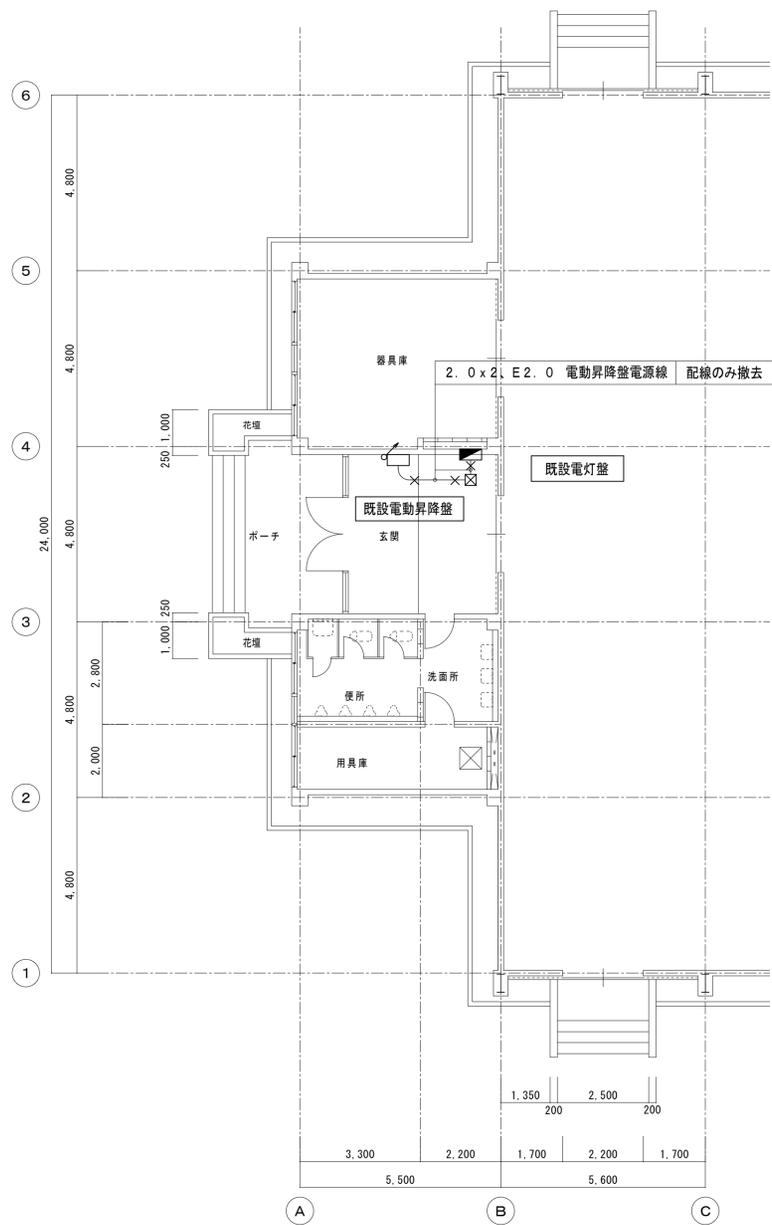


西面図 1/100

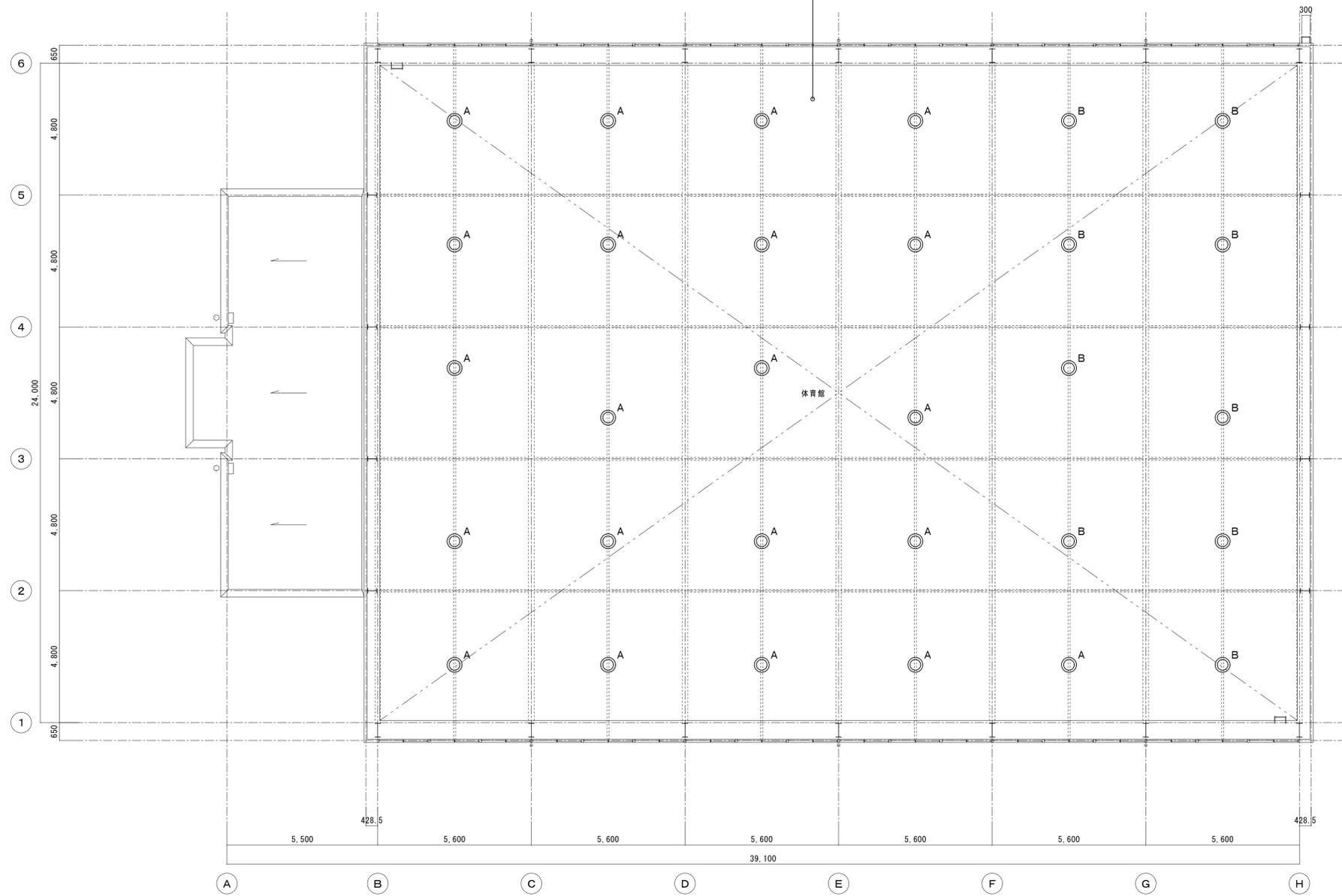


記 事	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
						鈴鹿工業高専第1体育館等非構造部材耐震設計業務			鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	06/09
						株式会社 綜企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	縮尺	番号
									第1体育館 照明器具取付図	1/100 1/10	E-03

※A3版の場合は50%縮尺とする



1階平面図 1/100



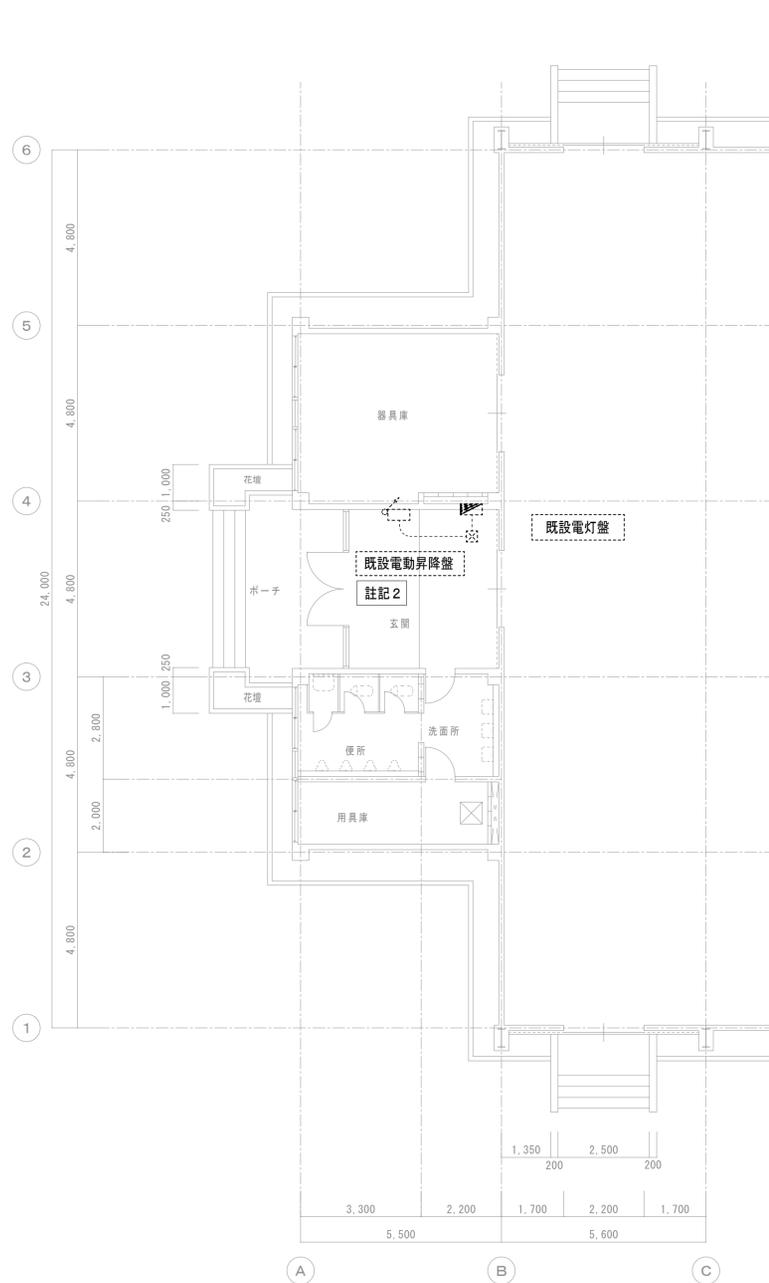
2階平面図 1/100

○ A x 21	撤去
○ B x 9	

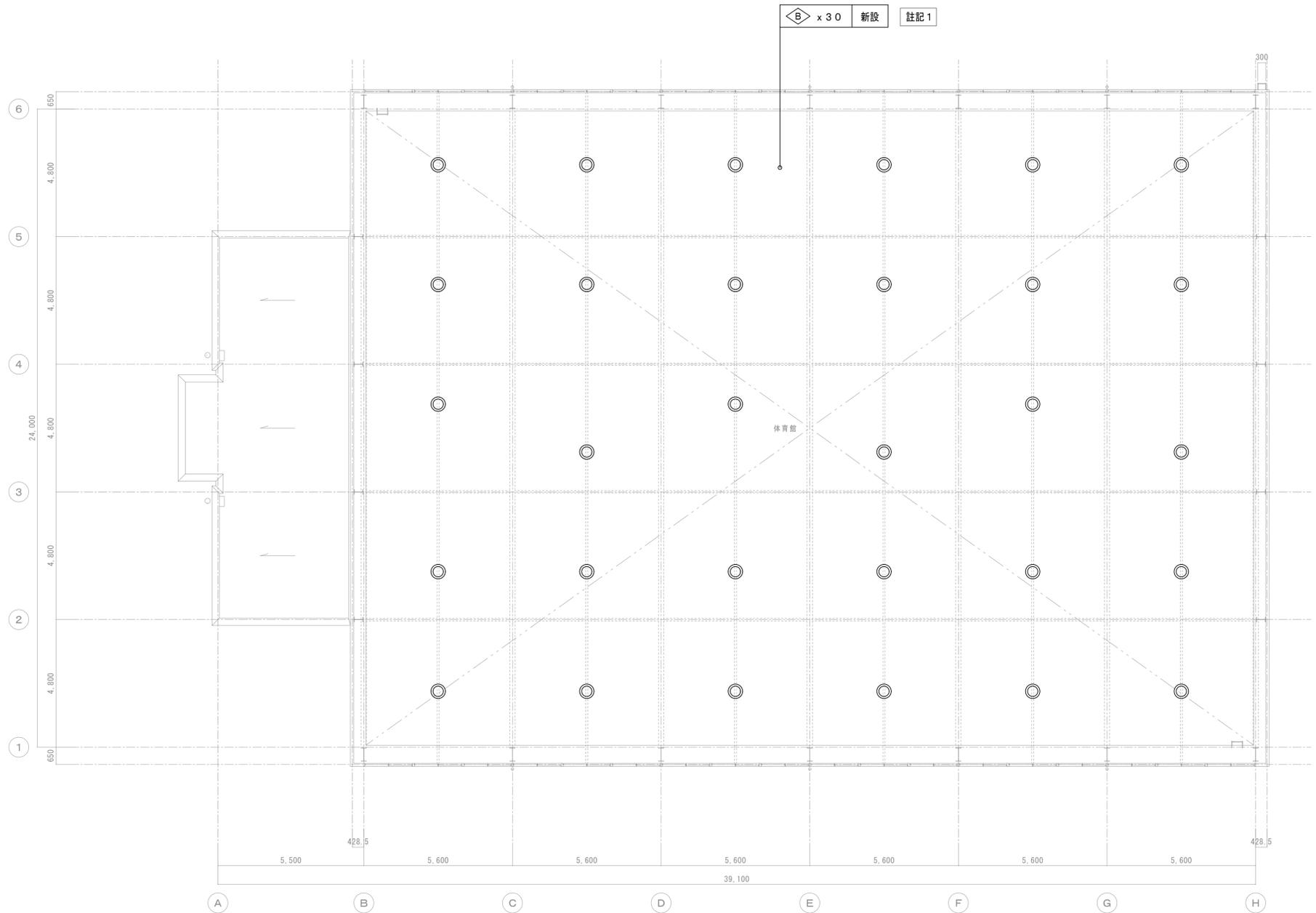
既設照明器具表			
記号	名称	仕様	
○ A	高天井用照明器具	水銀ランプ400Wタイプ	安定器・電動昇降装置内蔵型 1φ200V電源
○ B	高天井用照明器具	セラメタランプ220Wタイプ	安定器・電動昇降装置内蔵型 1φ200V電源

記事	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
						鈴鹿工業高専第1体育館等非構造部材耐震設計業務			鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	07/09
						株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称 第2体育館 電灯設備 1階・2階平面図(改修前)	縮尺 1/100	番号 E-04

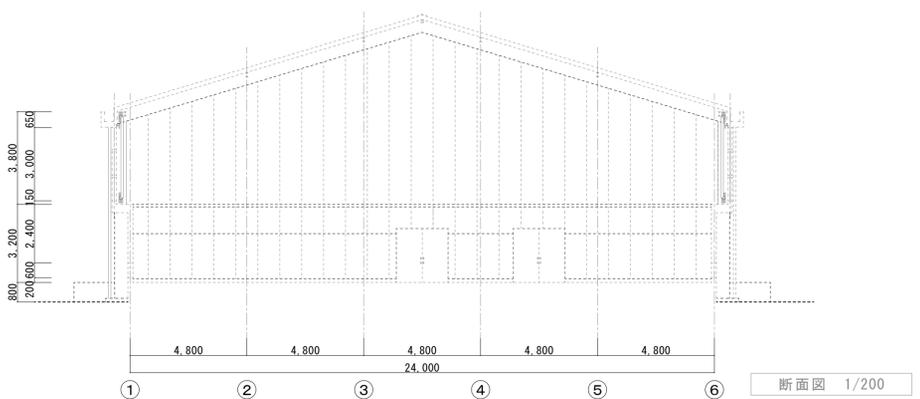
※A3版の場合は50%縮尺とする



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



断面図 1/200

**新設照明器具姿図**

LED高天井器具 中角タイプ 消費電力170W(200V時)  
 メタルハイドランプ400W高天井器具相当  
 落下防止ワイヤー、拡散カバー付き下面ガード・体育館用ガード付

※ 取付方法は第1体育館に準ずる

LSR2M-20000LM  
 (東芝 LEDJ-20028N-DJ2 相当品)

**註記1**

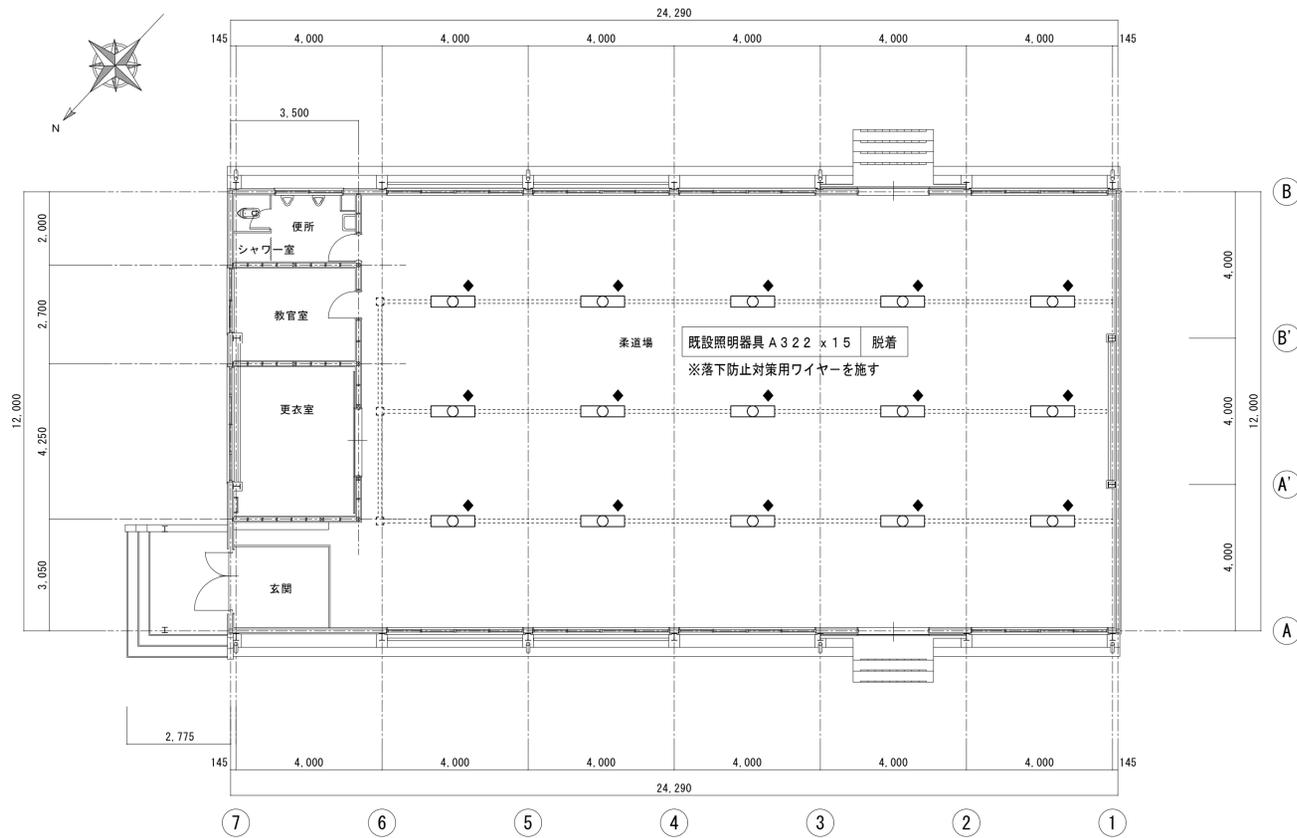
・今回電動昇降装置は使用しない為、昇降配線は接続しない。  
 但し、昇降配線は既存のままとし、不要線の表示を施す。

**註記2**

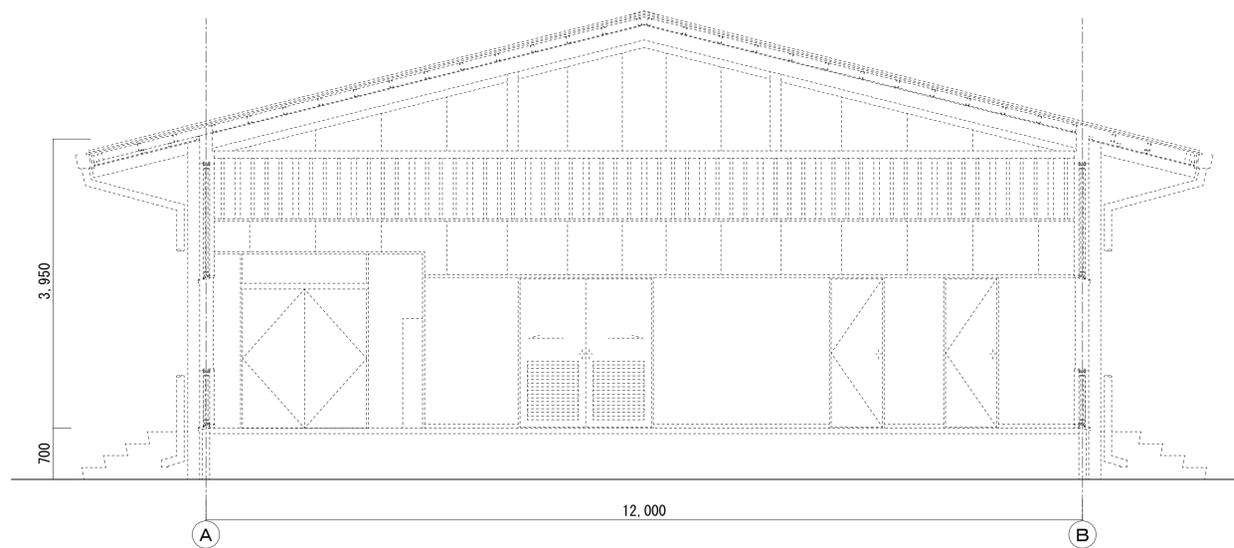
・今回電動昇降装置は使用しない為、銘板と内機を撤去する。  
 電動昇降装置の2次側配線は不要線の表示を施す。

記 事	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
						鈴鹿工業高専第1体育館等非構造部材耐震設計業務			鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	08/09
						株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	縮尺	番号
									第2体育館 電灯設備 1階・2階平面図(改修後) 第2体育館 断面図	1/100-200	E-05

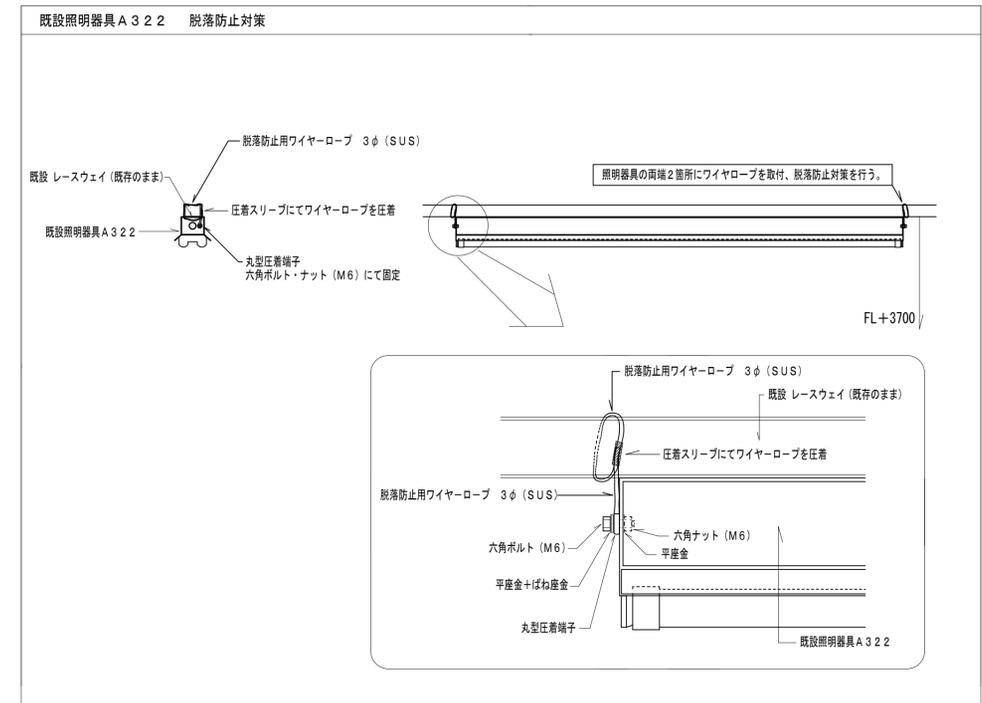
※A3版の場合は50%縮尺とする



1階平面図 (改修後) 1/100



断面図 1/50



既設照明器具姿図



- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする  
 ..... 既設 レースウェイ (既存のまま)
  - 凡例  
 ◆は脱着を示す  
 点線は既存のままを示す
  - 床面は畳敷きの為、畳等を損傷しないように、仮設足場等の設置の際は十分に養生すること

記 事	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
						鈴鹿工業高専第1体育館等非構造部材耐震設計業務			鈴鹿工業高専第1体育館等照明器具改修工事	平成27年6月	09/09
						株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	縮尺	番号
									柔道場 電灯設備 1階平面図 (改修前・改修後) 柔道場 断面図	1/50,100	E-06

※A3版の場合は50%縮尺とする